

第七次国有林野施業実施計画書（案） （千曲川下流森林計画区）

計画期間 自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 12 年 3 月 31 日

林野庁中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとに定める5年間の計画である。

本計画の計画期間は令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間である。

目 次

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
(1) 伐採造林計画簿	1
(2) 水源涵 ^{かん} 養タイプにおける施業群別面積等	1
(3) 水源涵 ^{かん} 養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4) 伐採総量	3
(5) 更新総量	4
(6) 保育総量	5
3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	5
4 林道の整備に関する事項	6
5 治山に関する事項	7
6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
(1) 保護林の名称及び区域	8
(2) 緑の回廊の名称及び区域	11
7 樹木採取区の名称、所在地及び面積	11
8 レクリエーションの森の名称及び区域	12
9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項	
(1) 森林共同施業団地の名称及び区域	20
(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域	20
10 その他必要な事項	
(1) 施業指標林、試験地等	21
(2) フィールドの提供	22

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha、年)

施 業 群		面 積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
施 業 群	小 面 積 分 散 伐 区	1,604.67	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	ス ギ	60
				ヒ ノ キ	75
				カ ラ マ ツ	60
				ア カ マ ツ	75
施 業 群	長 伐 期	1,165.96	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	ス ギ	120
				ヒ ノ キ	150
				カ ラ マ ツ	100
施 業 群	人 工 林 複 層 伐 (植 栽 型)	148.14	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林。	ス ギ	120[60]
					85[60]
				ヒ ノ キ	150[75]
					100[75]
施 業 群				カ ラ マ ツ	100[60]
					85[60]
施 業 群	天 然 林 複 層 伐 (天 然 更 新 型)	409.87	天然林において、複層伐により部分的に伐採し、天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	針 葉 樹	200
				広 葉 樹	180

施 業 群		面 積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
施 業 群	人 工 林 択 伐	580.09	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	針 葉 樹 95(35)
	天 然 林 択 伐	807.28		針 葉 樹 200(35) 広 葉 樹 180(25)
	そ の 他	32.79	遺伝子保存林、検定林、試験地、精英樹保護林等の目的による。	
合 計		4,748.80		

- (注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。
2 () は回帰年、[] は複層伐の初回伐採の伐期齢である。
3 人工林複層伐の常時複層状態となるタイプの二段書きは、後伐の伐期齢を二通り設けたもの。

(3) 水源^{かん}涵養タイプの施業群別の上限伐採面積 (単位：ha)

施業群分類	上限伐採面積	備 考
通 常 伐 期 施 業	106.97	小面積分散伐区
長 伐 期 施 業	38.86	長伐期
複 層 林 施 業	33.61	人工林複層伐（植栽型）・天然林複層伐（天然更新型）
天然林・その他施業	198.19	人工林択伐・天然林択伐

- (注) 1 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の面積である。
2 契約に基づいて主伐を実施する分収林については、上限伐採面積に含めない。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ	(15.63)	(648.17)	(663.80)				
	3,943	59,922	63,865				
	(15.05)	(545.79)	(560.84)				
	3,547	49,369	52,916				
土砂流出崩壊防備	(0.58)	(102.38)	(102.96)				
気象害防備	396	10,553	10,949				
自 然 維 持 タ イ プ							
森 林 空 間 利 用 タ イ プ	(3.41)	(683.07)	(686.48)				
	788	63,124	63,912				
快 適 環 境 形 成 タ イ プ							
水 源 涵 養 タ イ プ	(120.88)	(822.82)	(943.70)				
	41,160	70,915	112,075				
	(113.24)	(109.22)	(222.46)				
	38,808	8,390	47,198				
		(513.97)	(513.97)				
		46,797	46,797				
	(7.64)	(15.76)	(23.40)				
	2,352	1,308	3,660				
		(155.97)	(155.97)				
小面積分散伐区		12,339	12,339				
長伐期		(25.86)	(25.86)				
人工林複層伐 (植栽型)		1,877	1,877				
人工林択伐		(2.04)	(2.04)				
天然林択伐		204	204				
その他							
合 計	(139.92)	(2,154.06)	(2,293.98)	22,263	262,115		262,115
	45,891	193,961	239,852				
年平均	(27.98)	(430.81)	(458.80)	4,453	52,423		52,423
	9,178	38,792	47,970				

(注) () は、伐採面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市 町 村 名	林 地		
	主 伐	間 伐	計
長 野 市	15,443	36,242	51,685
須 坂 市			
飯 山 市	4,699	1,474	6,173
木 島 平 村	5,424	42,434	47,858
野 沢 温 泉 村	941	5,844	6,785
信 濃 町	17,926	63,125	81,051
飯 綱 町			
栄 村	1,458	44,842	46,300

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 かん タイプ	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成					84.35	84.35
	複 層 林 造 成	12.03		2.05		4.59	18.67
	計	12.03		2.05		88.94	103.02
天 然 更 新	天 然 下 種 第 1 類						
	天 然 下 種 第 2 類						
	ば う 芽						
	計						
合 計		12.03		2.05		88.94	103.02

(6) 保育総量

(単位:ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ ^{かん}	合 計
保 育	下 刈	21.60		10.23		449.58	481.41
	つ る 切						
	除 伐	8.71				151.74	160.45
	計	30.31		10.23		601.32	641.86

3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

(単位:ha)

所在地 (林小班)	面積
12ち・リ、13ろ・へ〜ち・ぬ・わ・た〜そ、109わ・た、110ろ・ち、114ろ、115 い、134い・ろ・ち・わ、135は・に・う、136い・は〜へ・ぬ・る・た・そ・つ・ く・ま・け・こ、137い・ぬ・わ・か・な、141そ・な、146は、147と、148は・へ・ と・つ・な・ら・お・く、149ろ・に・ぬ・た・や〜け、150ろ・と・れ、151い・ ろ・に・へ〜り・わ〜た・そ・な〜む・お・や・て・し、153ろ、155ほ・へ・ぬ・ れ〜つ、156ろ・は、159い・へ・か、1010い・へ・わ〜よ、1011い・リ・ぬ・め〜 し・も、1014ろ・わ1・わ2・か、1015い・ぬ・そ・つ、1016い〜は・ほ〜り・る、 1017い・ほ、1018い、1019い・へ、1020い・ろ・に〜へ3・と・ち・ぬ・る、1021 は・と・ち・る〜か・ね・な・く・や・こ、1022ろ・ほ〜と・る・た〜つ・ら・ む・の・ま・こ、1023ち・ぬ〜た・む・の、1029へ4、1030と・く・ね、1033に・ へ〜ぬ・か〜た・な・む〜ふ・て・さ〜ゆ・み・し・ひ、1034ろ・は・に・へ1・へ 2・へ4・と・り・ぬ・わ・か・な〜む・の〜ま、1035い・ろ2・に・へ〜ぬ・つ・ ね・ら・う〜く、1036に1・へ〜り・わ・よ〜つ・ら・う1・く・ま・け・も〜ん1、 1037い1・ろ1・ろ2・ろ3・は・へ・ち1〜ち3・ぬ・る1〜る3・か、1038い・ろ2・ ろ3・に1・ほ1・ほ2・ほ3・へ・と3・と5・と6・ち・つ・の・え・て・あ、 1040い〜と・ち1〜ち3・ぬ・る・よ・れ・あ・さ・も・せ、1041い〜に・へ2〜へ 4・る1〜る3・る5・る6・る8・わ・ん10、1042い〜は・た・そ・な、1043い〜り・ る〜れ・ね〜ら・む〜の・ま・て、1044へ・と・ち1・ち2・ち4・ち5・ぬ〜た・そ 〜ら・う〜す、1045い・と・り・か・よ・む・ん8・ん9、1046い2、1047い〜ほ・ ち・り・る・か2・う〜お・や・ま、1049り・ぬ〜よ・れ・な・む〜お・ま、1050 に・ほ・ち・た〜う・お、1070ま1〜ま3、1071ろ、1073き・ん4、1076ろ	2,134

4 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	林 班・箇 所		延 長	備 考
基 幹	改 良	北志賀	153～156	1 箇所	10	
		馬曲鳥甲	119～122、142～146	2 箇所	15	
		極野	124～126	1 箇所	10	
		温井野々海	163～166	1 箇所	10	
		鳥居川戸隠	1033～1036	1 箇所	320	
		計		6 箇所	365	
その他	開 設	鳴岩	1041	1 箇所	500	
		富士里	1037・1038	1 箇所	2,500	
		計		2 箇所	3,000	
	改 良	四ノ宮	148・149	1 箇所	50	
		朴ノ木沢	129～133	2 箇所	20	
		五宝木	110	1 箇所	10	
		赤野田	1076	1 箇所	10	
		大持	151	1 箇所	10	
		御巢鷹	1001～1011	1 箇所	20	
		黒姫種池	1013～1023	1 箇所	20	
		西ノ入	1073～1075	1 箇所	10	
		計		9 箇所	150	
合 計	開 設			2 箇所	3,000	
	改 良			15 箇所	515	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 治山に関する事項

(単位：箇所)

位 置	区 分	工 種	計画量
雑魚川、栃川、野々海川、大黒沢、清水沢	保全施設	溪 間 工	5
野々海川、馬曲川、保科川、上楠川、旭山	保全施設	山 腹 工	5
馬曲川	保全施設	そ の 他	1
合 計	保全施設	溪 間 工	5
		山 腹 工	5
		そ の 他	1

(注) 1 位置は、単位流域を表す。

2 保全施設の計画量（箇所）は、単位流域の数を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

区 分	名 称	面 積	位 置（林小班）	特 徴 等	備 考
森 林 生 態 系 保 護 地 域	佐武流山周辺	保存地区 5,200.45	20い～は、21ろ～へ 22は・ニ 23い・イ～へ 24い・へ～チ 25い・イ～ワ 26い、29い 31い・ろ・イ・ロ 32い～に・イ 33い・ろ・ほ・リ・る・ イ・ハ・ニ 34い～に・イ～ニ 35い～に・イ 36い～は 37い・ロ・へ～リ 38い・ろ、39い・ろ 40い～ほ・か 41い～は 42い～に・へ～ち 43い～に・へ・ロ・ハ・ ホ・へ 44い～と・ロ～ニ 45い・ろ・イ、46い 47い・に・ほ・イ・ハ	長野県北東部及び新潟県南部に 位置し、日本海側の森林植生から 太平洋側の森林植生への推移帯に あたる原生的な森林の生態系の保 護・管理を図る。	
		保全利用地区 3,638.80	16い～は・イ 17ろ・イ～ホ 18ろ・イ、19い・ろ 21い・に 22い・ろ・に・イ～ハ 24ろ・イ～ホ・リ 26ろ・は・イ 27い～は・イ 28い～ほ 29ろ～に・イ 30い～は・イ～ハ 31は～ほ、32ほ・へ 33は～ち・ぬ・ロ・ホ 34ほ、36に 37ろ～に・イ・ハ～ホ ・ヌ～タ 38は、39は・に 40へ～わ・イ 41に・ほ・イ・ロ 42ほ・イ 43ほ・イ・ニ 44い、46ろ・は・イ 47ろ・は・へ～ち・ロ・ ニ 48い・イ・ロ 49い～は・イ～ハ		
計	1箇所	8,839.25			

区 分	名 称	面 積	位 置（林小班）	特 徴 等	備 考
生 物 群 集 保 護 林	カヤの平等	1,399.83	50は・に・イ・ロ 51に・ロ 52に・ほ 53は～ち・る・イ 54へ～ち・た 55に・ほ 67イ 111い・イ～ハ 112へ・ニ 113に・へ・ニ～ル 114は・ぬ～わ・ イ～ホ	台倉山の南東斜面に広がるカヤノ平一帯のブナ林は、典型的な日本海型ブナ植物群落である。また、鳥甲山は、東、南斜面が切り立った断崖状を成し、赤色の岩肌が露出した特異な景観を呈しており、周囲に亜高山性針葉樹林が広がり山頂付近に高山植物群落が分布している。これらの生物群集を有する森林の保護・管理を図る。	
	戸隠山	1,889.47	1027ロ 1028に・へ・と・る・わ ・つ～な・ホ 1046へ2・と～ぬ・ か～た・そ～ら・ロ 1047イ 1048ニ 1049イ 1050イ 1051イ 1052イ・ロ 1053イ～ニ 1054イ・ロ 1055イ～ニ 1056イ～ニ 1057イ～ホ 1058イ～ニ 1059イ・ロ	戸隠山麓には多くの鳥類の生息が確認され、多種多様な野鳥が豊富に生息するとともに、スギ、カラマツの人工林とハルニレ、ヤチダモ、シラカバ、ウラジロモミ等から構成される天然林があり、これら生物群集を有する森林の保護、管理を図る。	
	苗場山湿原	1,327.14	8に 9ろ・に・へ 10ろ・は・イ・ロ 11は・ぬ 13へ 14ろ・た・イ 15ろ・ぬ・る・イ・ロ	苗場山の西、南斜面の一帯には、我が国でも有数の規模の高層湿原、雪田植生、高山草原等がある。また、大岩山は、東西及び南北に延びる尾根筋に、安山岩の方状節理が発達し、切り立った断崖状の特異な景観を呈するとともに、広大な苗場山湿原の突端部となっている。これらの生物群集を有する森林の保護・管理を図る。	
計	3箇所	4,616.44			

区 分	名 称	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
希 少 個 体 群 保 護 林	笠ヶ岳	180.09	176い・ろ	志賀高原の笠ヶ岳(2,067m)は上信火山帯に位置する独立峰で、オオシラビソ、シラビソ、カンバ等から構成される原生的な天然林の保護・管理を図る。	
	笠山クロベ	4.29	1043や	クロベを主体とする天然林は、ウラジロモミ、カンバ類が混交しているものの非常に珍しく、学術的に貴重であることから、この個体群の保護・管理を図る。	
	小菅山ヒメコマツ	21.04	141は～と・リ	岩石地帯に通常単木的に自生するヒメコマツがまとまった群落として見られることは希少であることから、ヒメコマツ個体群の保護・管理を図る。	
	米子	1,153.02	1085い～り・イ～ハ 1086い～よ・イ～ヌ 1087い～よ・イ～リ 1088い～か・イ～チ 1089い～ち・イ～ト 1090い～は・イ～ハ	大型の希少鳥類の生息が確認されていることから、その生息に必要な森林の保護・管理を図る。	
計	4 箇所	1,358.44			
合 計	8 箇所	14,814.13			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：km、ha)

名 称	延 長	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
緑の回廊 雨飾・戸隠	6.2	1,808.34	1056い・ろ 1057い 1058い～は 1059い～ほ 1060い～と 1061い～た・イ 1064い～は・イ 1065い・ろ・イ 1066い～ほ・イ～ハ	千曲川下流森林計画区の戸隠山 生物群集保護林から中部山岳森林 計画区の雨飾・天狗原山生物群集 保護林までを連結し、野生動植物 の移動経路を確保し、生息・生育 地の拡大と相互交流を促す等森林 生態系の保護・保全を図ることを 目的とする。 林況はブナを主とする広葉樹天 然林が大半を占めている。 施業については「緑の回廊雨 飾・戸隠設定方針」による。	
合 計		1,808.34			

千曲川下流：1,808.34
 中部山岳：1,983.75
 計：3,792.09

7 樹木採取区の名称、所在地及び面積

該当なし

8 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位:ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
自 然 休 養 林	カヤの平	1,454.78	内訳は以下〔ゾーン区分〕のとおり	志賀高原、野沢温泉及び秋山郷のほぼ中央に位置し、県道奥志賀公園線と県道奥志賀公園栄線が整備されており、一般者でも気軽に自然とふれあうことができる。				
	〔自然観察教育〕	240.17	59る		育成 複層林	・園地 (木島平村)		
			59へ・と・ぬ 152ろ・に・ち		天然 生林	・歩道 (国)		
			59口～ニ		林地 以外	・北ドブ湿原 植物園 (国) (地方公共団体)		
	〔森林スポーツ〕	55.95	153ぬ		育成 複層林	・野営場 (国) (木島平村)		
			152ほ 153ら		天然 生林	・宿泊施設 (木島平村)		
			152イ～ホ 153イ～リ		林地 以外	・自然教育園 (国) (地方公共団体)		
						・南ドブ湿原 植物園 (国) (地方公共団体)		
	〔風景〕	826.69	59ち・り・た 60れ～う・く・や・ け・こ・え・あ 150へ・ぬ・る・わ・か 151ぬ・け～え・ あ～め 152い・へ 153に～と・よ・れ・ そ・む・う・ お～み・ひ		育成 複層林	・園地 (国)		
			59ほ 153ち・た・つ・の 154る・よ 155よ		天然 生林	・歩道 (国)		
			59イ 60イ・ロ		林地 以外			
	〔風致探勝〕	331.97	153わ・か・ね・な・し 154と・り・わ・か 155と・ね		育成 複層林	・園地 (木島平村)		
			152は・と 153り・る 154ち・ぬ 155る・か・た・な		天然 生林	・自然教育園 (国) (地方公共団体)		
						・歩道 (国)		

種 類	名 称	面 積	位 置（林小班）	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
	戸隠・大峰	2,623.60	内訳は以下〔ゾーン区分〕のとおり	長野市街地からの道路事情が良く、地形や動植物の多様性に恵まれていること及び県都に近く、善光寺等の観光地が周辺にあることから、登山、ハイキング、森林浴、キャンプ、スキー等四季を通じて安定した利用がある。				
	〔自然観察教育〕	269.75	1028に・と・つ～な		育成 複層林	・歩道 （国） （地方公共団体） ・園地 （国） （地方公共団体） ・植物園 （国） （地方公共団体）		
			1046い1・ろ・に・ほ・ち・り・る・わ・か・れ・そ・ね・む～け					
			1028ほ・へ・わ				天然 生林	
			1046は・へ1・へ2・と・ぬ・よ・た・つ・な・ら				林地 以外	
	〔森林スポーツ〕	35.28	1030そ		育成 複層林	・歩道 （国） （長野市） （地方公共団体） ・野営場 （長野市）		
			1028れ・そ		天然 生林			
			1028イ～ハ・チ		林地 以外			
			1030イ～ト					
	〔野外スポーツ〕	402.42	1029ち・ぬ・る1・る2・わ～た・ね・の～や・こ・ん3・ん5・ん6		育成 複層林	・歩道 （国） （長野市） （地方公共団体） ・スキー場 （長野市） ・園地 （国） （地方公共団体）		
			1045お・ま・け～こ・み・ひ～せ・ん1・ん2					
			1029そ・つ・な～う・え～す・ん1・ん2・ん4・ん7				天然 生林	
			1031れ・そ・つ・ら・む					
			1032り					
1034け								
1045の・く・や・え～め・し・す・ん3～ん5								
		1029イ～へ	林地 以外					
		1030ヌ						
		1031ロ～ニ						
		1034イ						
		1045イ～リ						

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
	〔風景〕	1,285.39	1024ほ・へ1～3・ と1・と2・リ1～7・ ぬ・ら・む1・む2・ の1・の2・お・く1・ く2・や・ま・ふ・ こ1・こ2・え1～3・ て～さ・め・み・ し1～3・ん3・ん5・ ん6 1025は・に 1026い・ろ・に～へ・ ぬ・わ～ね・ら～ひ 1029へ1～3・へ5・ り・ま・ふ 1030り・ぬ・わ・な・ む 1031に・ほ・る・な		育成 複層林	・ 歩道 (国) (地方公共団体) ・ 園地 (国) (地方公共団体)		
			1022お・や 1023つ・ね 1024ち・わ・そ・つ・ き・ゆ・す 1025い・ろ・ほ・へ 1026は・と・ち・り・ る・な 1027ほ 1028ぬ・る 1029ほ・れ・け 1030へ・ち・る・ら 1031と・り・ わ～た		天然 生林			
			1024へ・ト・ヌ・ヨ 1025イ 1030チ・リ		林地 以外			
	〔風致探勝〕	630.76	1024ろ1～11・た・れ ・う・け・せ・ん1・ ん4 1027い 1028ろ 1029い・に・と 1030い・ろ・ほ・か・ よ～れ・う 1031は・ぬ・ね 1069ろ・ち		育成 複層林	・ 歩道 (国) (地方公共団体) ・ 野営場 (長野市) ・ 園地 (国) (地方公共団体)		

	戸隠・大峰 〔風致探勝〕 続き		1024い・は・に・る・ か・よ・ひ・も・ん2 1027ろ～に 1028い・は・ち・り・ か・よ・た 1029ろ・は 1030は・に・つ・の 1031い・ろ・へ 1069い・は～と・ り～る・わ～な 1024イ～ホ・チ・リ・ ル・ワ・カ 1027イ～リ・ル～カ 1028ニ・へ 1031イ 1069イ～ト		天然 生林 林地 以外			
計	2 箇所	4,078.38						
自然観察 教 育 林	御鹿池	75.08	1013い～は・ほ～ぬ 1013に 1013イ	黒姫山の東緩斜面、 標高760～880mの間に あり、御鹿池を中心に スギ、カラマツの人工 林が広がっている。池 の周辺には、貴重な湿 性植物の群生等があ り、整備された遊歩道 を利用して、自然観察 を楽しむことができ る。夏は冷涼な気候で 散策に適している。冬 季にはかなりの積雪が あり、黒姫スキー場と 隣接している。	育成 複層林 天然 生林 林地 以外	・歩道 (信濃町) ・園地 (信濃町) ・資料館 (信濃町)		
計	1 箇所	75.08						
野 外 スポーツ 地 域	野沢温泉	272.64	129さ 130ろ・と・ち・る・わ ・か・よ・な～く 128よ・ら 129ね・お～や・ こ～あ・き～め 130い・へ・ぬ・ た～ね・け・ふ 138ろ・は 140わ 129イ～ニ 130イ～ヌ・ワ 138イ・ニ	野沢温泉村の温泉街 と一体になって開発が 進められ、古くからス キー利用がされてき た。気候は日本海型の 影響で積雪量が多く、 雪質も良いスキー場で ある上の平一帯は、ス ポーツ公園として各種 施設の整備がされ、夏 場の利用も進んでい る。	育成 複層林 天然 生林 林地 以外	・歩道 (野沢温泉村) ・運動公園 (野沢温泉村) ・スキー場 (野沢温泉村) ・ 園地 (民間) ・食堂・売店 (民間)		

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
	木島平	252.78	157い～ほ・と・り・ か・そ 158い・ろ・と・ち・ よ・そ・つ 159は・に・と～わ	高社山の北面に位置し、昭和47年からスキー場として利用がされてきた。比較的交通条件が良く、隣接地には宿泊施設等が多くあり、多くの利用者が訪れる。	育成 複層林	・スキー場 (木島平村) (民間) ・園地 (木島平村) ・飲食施設 (木島平村)		
			157へ・ち・ぬ～わ・ た・れ 158は・に・へ・ り～か・た・れ		天然 生林			
			157イ・ロ 158イ～ニ 159イ・ロ		林地 以外			
	戸狩	211.91	172そ・お 173は	新潟県と接する関田山系にあり、昭和44年にスキー場として指定され、ブナ林の中に開発されたスキー場である。民有地には民宿が多くあり、スキー場と密接な関係をもっている。	育成 複層林	・スキー場 (民間) ・歩道 (飯山市)		
			172と～り・り1・る・ わ～れ・ね～の・ く・や 173い・ろ・ち・ぬ		天然 生林			
			172イ・ロ 173イ～ハ		林地 以外			
	黒姫	119.41	1011ほ・と・わ～ れ・つ・ふ～あ・ゆ 1012い・ろ・わ・か・ た・れ1・れ2・ そ～ね・な1～3・ ら	黒姫山東山麓の黒姫高原の一角を占めている。夏季には、散策、避暑、ハイキング等の自然探勝の利用、冬季にはスキー利用がされており、信濃町の観光資源の一つともなっている。黒姫高原周辺には野尻湖等の観光資源があり、夏季にはこれらと一体的な利用もされている。	育成 複層林	・スキー場 (民間) ・園地 (民間)		
			1011に・へ・ね・ら・ む・お～け 1012へ・り～よ・む		天然 生林			
			1011ロ・ハ 1012イ・ロ		林地 以外			
	牟礼	219.74	1039い～に・な・ら・ や	霊仙寺山の中腹から山麓にかけての東斜面に開設されたスキー場である。長野市街地から近いので、長野市近郊からの日帰りの利用者が多い。	育成 複層林	・スキー場 (民間) ・歩道 (飯綱町)		
			1039ほ・と～る・わ・ た・れ・む～く・ ま～し・も・せ		天然 生林			
			1039イ～ニ		林地 以外			

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
	飯縄	204.32	1041る7・る10・ よ～れ・ね・な・ む・お～あ・ゆ・め も・せ・ん1・ん3・ ん4・ん7 1042へ～ち・ぬ～か ・れ・ら・く・や・ふ ・こ～て 1041る11・ら・う・の さ・き・み・し・ひ・ す・ん2・ん5・ん6・ ん8・ん9 1042に・り・よ・の・ ま・け・あ・さ 1041イ・ニ～へ 1042イ～ニ	飯縄山は成層火山であるため、上部は急斜面であるが、下部に移行するにしたがい平地となっており、他観光施設と連携しつつ、夏秋の散策、森林浴、ハイキング、冬のスキーと年間通じて多くの方に利用されている。	育成 複層林 天然 生林 林地 以外	・スキー場 (長野市)		
計	6 箇所	1,280.80						
風 致 探 勝 林	野々海池	138.90	161り 162か・よ・ね・く 163ろ・は・へ・と 162イ・ハ 163イ	関田山系の最大湖である野々海池を囲む一帯であり、林齢150～200年生のブナ天然林が湖と一体となって調和のとれた景観となっている。地元栄村により池の東南側にキャンプ場等の施設整備がされている。	天然 生林 林地 以外	・歩道 (栄村) ・野営場 (栄村)		
	斑尾	47.52	175に・と・わ・よ 175へ・か 175イ	新潟県境に位置する関田山系の南端にあり、希望湖周辺の緩傾斜地を中心とする一帯で、高齢級のカラマツ人工林を主とした林分からなっている。著名な斑尾高原の一画をなしており、駐車場等が整備され、開発された民有地と一体的利用がされている。	育成 複層林 天然 生林 林地 以外	・歩道 (飯山市) ・園地 (斑尾観光協会)		

種 類	名 称	面 積	位 置（林小班）	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風 致 探 勝 林	茶屋池	42.68	169ぬ 170ほ	関田山系の茶屋池の周辺にあり、池及び湿原を中心とした平坦地からなっている。池周辺の森林は林齢約150年生のブナ天然林からなっている。新潟県上越市の「光ヶ原高原」と峠を境にして隣接しており、春から秋にかけての散策等の利用がされている。	天然 生林	・歩道 （飯山市）		
			170イ・ロ		林地 以外			
	小菅山	66.75	141い 141ろ	小菅山の山麓の北竜湖と一帯となり、良好な自然環境を呈している。林相はアカマツ、ブナ、ミズナラ等の天然林からなり、近接地域がヒメコマツ植物群落保護林として指定されている。北竜湖南側の小菅集落には小菅神社があり、古い歴史をもっている。	天然 生林	・歩道 （飯山市）		
	雑魚川	183.72	52い 53い 54い 60い 61い・ほ 62い 63い 64い	鳥甲山や台倉山の南側を流れる雑魚川に沿って開設された雑魚川林道及び奥志賀林道沿線一帯を区域としており、ブナ、ミズナラを主とする林相からなっている。	天然 生林	・歩道 （長野県）		
			54イ 61イ		林地 以外			
計	5 箇所	479.57						
合計	14 箇所	5,913.83						

(注) 上記以外のその他レク施設敷は0.32haである。

(参考) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法等

(単位: ha)

施業方法等	位置 (林小班)	面積	施業方法等	位置 (林小班)	面積	施業方法等	位置 (林小班)	面積
育成 複層林	52ろ・は・へ・と	1,886.22	天然生林	54に・ほ・ぬ・る	888.59	林地以外	52イ・ロ	10.93
	53ろ・リ			55い・は・と			64イ・ロ	
	54ろ・は・リ・わ～よ			56ろ・ほ～と・リ				
	55ろ・へ			57に・へ～ち				
	56い・は・に・ち			58ろ・は・ぬ・た・そ・つ				
	57い・ろ・は・ほ			59い・は・に・れ～つ				
	58い・に～り・る～よ・れ			60ち・リ・る・か・ふ・て				
	59ろ・わ～よ			61に・ち・リ				
	60ろ～と・ぬ・わ・よ・た・の・			62は・ほ・へ・ぬ・る				
	お・ま・さ・き			63は				
	61ろ・は・へ・と・ぬ・る・わ			64へ・と・リ・る・れ・つ				
	62ろ・に・と～り			121は・に・へ				
	63ろ・に・ほ・へ・と			122ほ・と・ち				
	64ろ～ほ・ち・ぬ・わ～た・そ			123ほ・と				
	121ろ・ほ・と			124へ・と・ち				
	122ろ・は・へ			125よ				
	123に・へ・わ			126た・そ～ね				
	124は・ほ			127か・れ・そ・ね				
	126へ			128ね				
	127と・ち・リ・つ・な・ら			129つ				
	128れ・そ・つ			130リ				
	141ち・ぬ・る・わ・ね・ら～の			138い				
	170に・と・ち・ぬ			141か				
				170ろ・は・へ				

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

(単位:ha)

名 称	対象地 (林班)		面 積	協定の概要
木島平村四ノ宮地域 森 林 整 備 協 定	民	30～34 36 38～40 47～49 52	635	効率的な作業路網の開設及び間伐等の 推進
	国	148～151	466	
長野市若穂保科地区 森 林 整 備 協 定	民	36～40	205	効率的な作業路網の開設及び間伐等の 推進
	国	1070～1076	1,342	
合 計	民		840	
	国		1,808	

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等

該当なし

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位: ha)

種 類	名 称	設定年	面 積	位 置 (林小班)	備 考
施 業 指 標 林	ブナその他有用広葉樹 天然林施業	S59年度	5.21	61る	天然林施業体系の確立
	ブナ天然更新	H 5年度	2.23	60り	漸伐施業実行箇所
試 験 地	キハダ等天然更新 幼齡林保育	S54年度	3.13	60ち	
	スギ耐雪性系統別	S46年度	5.58	109た	
	ブナ成長固定試験	H元年度	18.22	130ほ内	
	〃	S63年度	12.32	146ち内	
	〃	S63年度	21.95	152に内	
	富士里カラマツ産地	S33年度	0.73	1038つ	(森総研)
	〃	S33年度	1.32	1038う	(森総研)
	富士里カラマツ人工林収穫	S35年度	1.10	1036け	(森総研)
	富士里スギ人工林収穫	S37年度	1.50	1038い	(森総研)
母 樹 林	特45-1	S45年度	0.67	1001ち	特別母樹林 (スギ)
展 示 林	北の入スギ耐雪 系統別試験地	H 5年度	1.40	135な	
	黒姫山カラマツ施肥試験地	H 5年度	0.88	1019へ	
	戸隠森林植物園	S46年度	66.47	1046ろ・ほ・へ1・へ2 と・ち	
次 代 検 定 林	関長 43号 (一般)	H 3年度	0.66	136た・め	
	関長 17号 (一般)	S49年度	2.07	1044き	
	関長 26号 (地域差)	S54年度	0.48	1035ら	
	関長 38号 (一般)	S63年度	0.57	1034へ2	
遺 伝 子 保 存 林	長遺 8号	S44年度	2.00	144ち	(スギ)
			2.50	141う	(スギ)
森 林 施 業 モ デ ル 林	育成単層林施業 (針広混交林化)	H11年度		135て	
	育成複層林施業	H11年度		153れ	
	育成複層林施業 (針広混交林化)	H11年度		1002え	

(注) 面積は、該当する林小班の面積である。

(2) フィールドの提供

ア ふれあいの森

(単位:ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
戸 隠 ふ れ あ い の 森 (平成11年度設定)	607.29	1024い・ろ1～11・ は～ほ・へ1～3・ と1・と2・ち・ り1～7・ぬ・ら・ む1・む2・う・の1・ の2・お・く1・く2・ や～ふ・こ1・こ2・ え1～3・て～み・ し1～3・す・ ん1～6・イ・ハ・へ・ ル・ワ・ヨ 1028い～は・ち～ぬ か・た～そ・イ 1029い～に・へ1～3・ へ5・と・ま 1030い～ほ・か～そ・ う・の・イ～ニ 1046い1・ろ～ほ・へ1 む～け	協 定 相 手 方 戸隠ふれあいの森 森林整備協議会 戸隠森林植物園ボランティアの会 NPO法人やまぼうし自然学校 協 定 期 間 令和11年度末まで (令和6年度末更新) 目 的 ボランティア団体等による自主的な森林 整備活動を行う。

イ 木の文化を支える森

(単位:ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
道 祖 神 祭 り の 森 (平成15年度設定)	20.18	130ふ・れ 135い・ほ	協 定 相 手 方 地縁団体野沢組 協 定 期 間 令和11年度末まで (令和6年度末更新) 目 的 地域の伝統行事である野沢温泉村に使わ れている資材の育成を図る。
戸 隠 竹 細 工 の 森 (平成17年度設定)	390.96	1003ぬ 1024る・か～れ・つ・ ひ 1025は～へ 1026わ～れ・の～く・ け・こ・み 1029ほ・ち・り・れ・ふ 1030へ・ち～ぬ・ な～む 1031る・わ・か	協 定 相 手 方 戸隠中社竹細工生産組合 協 定 期 間 令和11年度末まで (令和6年度末更新) 目 的 地域の伝統工芸品である、戸隠竹細工用 資材の保護と育成を図る。

ウ 遊々の森

(単位:ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
やまわらのもり 山 童 の 森 (平成15年度設定)	20.30	1037ろ2・ろ3	協 定 相 手 方 学校法人 東京環境工科学園 協 定 期 間 令和11年度末まで (令和6年度末更新) 目 的 国有林野を、林業体験や自然観察等の多様な活動の場として活用を図るため設定する。
森林林業再生モデル林 (平成23年度設定)	31.95	1037い3・ろ2・ろ3・ぬ	協 定 相 手 方 一般社団法人 C.W.ニコル・アフアの森財団 協 定 期 間 令和11年度末まで (令和6年度末更新) 目 的 自主的な森林整備活動により、健全な森林作りを図る。

エ 多様な活動の森

(単位:km)

名 称	距離	対象地 (林小班)	設定の目的等
関 田 ト レ イ ル (平成16年度設定)	35	豊田山国有林の関田山脈 平丸峠～中山峰国有林の天水山の区間の稜線 (一部民有地を含む)	協 定 相 手 方 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ 協 定 期 間 令和11年度末まで (令和6年度末更新) 目 的 トレイル(森林保全巡視路)の整備、維持管理及び利用を通じて、地域の活性化に資する。

(注) 1 北信森林管理署、関東森林管理局上越森林管理署及び信越トレイルクラブとの三者協定である。

2 関田山脈の総延長80kmのトレイルのうち、国有林が主体の35kmについて協定を締結しているものである。

その他附属資料

(1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積	1
---------------------	---

② 保安林、自然公園等の面積	2
----------------------	---

(2) 機能類型別の国有林野の現況	3
-------------------------	---

(3) 林道等の現況	4
------------------	---

(4) 収穫予想表	4
-----------------	---

(5) 地元施設等の現況	4
--------------------	---

(1) 国有林野の現状

① 担当区別の区域及び面積

(単位:ha)

担 当 区	関係市町村	要存置林野		不要存置 林野面積	官行造林地 面 積
		面 積	関係林班		
木 島 平	山 ノ 内 町	180.09	176		
	木 島 平 村	5,703.53	54～64、142～159		
	栄 村	1,389.52	50～55		
	小 計	7,273.14			
野 沢	飯 山 市	2,389.07	141、163～173、175		
	野沢温泉村	1,551.64	127～131、134～138、140		
	栄 村	540.28	127～129、131～133		
	小 計	4,480.99			
水 内	山 ノ 内 町	5,403.89	30～49		
	栄 村	11,763.85	8～29、67、102、106～126 161、162、177		112.45
	小 計	17,167.74			112.45
長 野	長 野 市	1,342.45	1070～1076	5.73	
	須 坂 市	1,796.27	1081～1090		52.25
	高 山 村	829.86	1091～1096		
	小 川 村				84.45
	小 計	3,968.58			136.70
黒 姫	長 野 市	669.45	1001～1003、1034、1035		
	信 濃 町	5,608.80	1002～1024、1033～1038 1079、1080、1099		
	飯 綱 町	409.65	1038～1040		
	小 計	6,687.90			
戸 隠	長 野 市	9,233.12	1025～1032、1040～1069、1099	1.22	
合計		48,811.47		6.95	249.15

②保安林、自然公園等の面積

(単位：ha)

区分		森林管理署別			
		北信		合計	
保安林	水源かん養保安林		39,821.57		39,821.57
	土砂流出防備保安林		3,987.03		3,987.03
	土砂崩壊防備保安林				
	飛砂防備保安林				
	防風保安林				
	水害防備保安林				
	潮害防備保安林				
	干害防備保安林		119.24		119.24
	防雪保安林				
	防霧保安林				
	なだれ防止保安林				
	落石防止保安林				
	防火保安林				
	魚つき保安林				
	航行目標保安林				
	保健保安林	(2,268.63)		(2,268.63)	
	風致保安林	(104.71)		(104.71)	
	計	(2,373.34)	43,927.84	(2,373.34)	43,927.84
	保安施設地区				
	砂防指定地	(1,554.23)	15.17	(1,554.23)	15.17
制限林	特別保護地区	(3,748.87)	0.31	(3,748.87)	0.31
	第一種特別地域	(6,958.24)	4.31	(6,958.24)	4.31
	第二種特別地域	(6,547.28)	240.63	(6,547.28)	240.63
	第三種特別地域	(9,142.75)	706.90	(9,142.75)	706.90
	地種区分未定特別地域				
	計	(26,397.14)	952.15	(26,397.14)	952.15
	特別保護地区				
	第一種特別地域				
	第二種特別地域				
	第三種特別地域				
	地種区分未定特別地域				
	計				
	第一種特別地域				
	第二種特別地域				
	第三種特別地域				
	地種区分未定特別地域				
	計				
	原生自然環境保全地域				
	自然環境保全地域特別地区				
	都道府県自然環境保全地域特別地区	(555.44)	1.93	(555.44)	1.93
	鳥獣保護区特別保護地区	(174.49)		(174.49)	
普通林	都市緑地保全法による緑地保全地区				
	都市計画法による風致地区				
	林業種苗法による特別母樹林	(0.67)		(0.67)	
	史跡名勝天然記念物	(41.47)	0.14	(41.47)	0.14
	種の保存法による管理地区				
	その他の制限林	(174.71)	44.52	(174.71)	44.52
	制限林計	(31,271.49)	44,941.75	(31,271.49)	44,941.75
	国立公園普通地域	(5,834.24)	368.53	(5,834.24)	368.53
	国定公園普通地域				
	都道府県立自然公園普通地域				
	自然環境保全地域普通地区				
	都道府県自然環境保全地域普通地区				
普通林	鳥獣保護区	(11,235.83)	501.09	(11,235.83)	501.09
	種の保存法による監視地区				
	その他の法指定地域（普通林）				
	普通林計	(17,070.07)	869.62	(17,070.07)	869.62
法指定地域合計		(48,341.56)	45,811.37	(48,341.56)	45,811.37

(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積ha、材積m³)

森林計画区：064 千曲川下流

機能類型 林 種		山地災害防止タイプ						快速環境形成タイプ		水源かん養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合 計			
		土砂流出崩壊防備			気象害防備													計	
		面積	材積		面積	材積												面積	材積
人 工 林	育成単層林	2,308.57	561,934	968.36	251,367	3,276.93	813,301			3,401.91	809,024	74.15	19,083	1,730.73	423,428	8,483.72	2,064,836		
	育成複層林	88.92	22,556			88.92	22,556			78.89	25,646			5.80	1,365	173.61	49,567		
	小 計	2,397.49	584,490	968.36	251,367	3,365.85	835,857			3,480.80	834,670	74.15	19,083	1,736.53	424,793	8,657.33	2,114,403		
天 然 林	育成単層林																		
	育成複層林	211.27	28,035	1,422.13	138,526	1,633.40	166,561			249.46	39,746	133.04	14,935	1,393.25	143,069	3,409.15	364,311		
	天然生林	5,713.58	924,886	7,163.49	1,088,619	12,877.07	2,013,505			988.45	163,243	12,248.69	1,997,742	4,650.63	755,363	30,764.84	4,929,853		
小 計		5,924.85	952,921	8,585.62	1,227,145	14,510.47	2,180,066			1,237.91	202,989	12,381.73	2,012,677	6,043.88	898,432	34,173.99	5,294,164		
	無立木地	3.03				3.03				30.09						33.12			
竹 林																			
林 地 計		8,325.37	1,537,411	9,553.98	1,478,512	17,879.35	3,015,923			4,748.80	1,037,659	12,455.88	2,031,760	7,780.41	1,323,225	42,864.44	7,408,567		
林地以外		716.90	250	406.33		1,123.23	250			196.81		3,924.76		702.23	5,452	5,947.03	5,702		
合 計		9,042.27	1,537,661	9,960.31	1,478,512	19,002.58	3,016,173			4,945.61	1,037,659	16,380.64	2,031,760	8,482.64	1,328,677	48,811.47	7,414,269		

(3) 林道等の現況

(単位: km)

区 分	林 道			作業道
	自動車道	軽車道	合 計	
延 長	205		205	68

(4) 収穫予想表

別表のとおり。

(5) 地元施設等の現況

(単位: ha)

区 分		面 積
分 収 造 林 契 約 に 基 づ く 分 収 林		267.42
分 収 育 林 契 約 に 基 づ く 分 収 林		162.87
共 用 林 野	普 通	13,408.15
	薪 炭	
	放 牧	13.28
	合 計	13,421.43
貸 地	植 樹 用 地	
	農 耕 用 地	0.17
	鉱 業 用 地	0.10
	道 路 用 地	130.14
	水 路 用 地	12.03
	電 気 事 業 用 地	34.22
	温 鉱 泉 用 地	
	学 校 用 地	
	採 草 放 牧 地	68.98
	建 物 用 地	2.15
	そ の 他 貸 地	403.20
	合 計	650.99

別表

収穫予想表

スギ	1
ヒノキ	2
カラマツ	3
アカマツ	5
その他針葉樹	6
広葉樹	7

収 穫 予 想 表

適用コード： 001

樹 種：スギ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳（奈川、奈良井、贄川を除く）、千曲川上流

齢 級	主 林 木					副 林 木			主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m³	連 年 成長量 m³	平 均 成長量 m³	幹材積 m³	幹材積 累 計 m³	幹材積 m³	連 年 成長量 m³	平 均 成長量 m³	総収穫量 m³	成長率 %
I					6.4					7.6			22.2
II													
III	6.6	4.2	2,677	22		1.5			22		1.5	22	
IV	10.3	6.2	2,050	54		2.7	6	6	60		3.0	60	
V	13.2	8.0	1,576	87		3.5	10	16	97		3.9	103	
VI	15.7	9.7	1,282	121		4.0	11	27	132		4.4	148	
VII	17.9	11.3	1,114	156		4.5	11	38	167		4.8	194	
VIII	19.8	12.8	993	191		4.8	11	49	202		5.1	240	
IX	21.5	14.1	900	225		5.0	11	60	236		5.2	285	
X	22.9	15.4	931	258		5.2	10	70	268		5.4	328	
X I	24.2	16.6	773	289		5.3	10	80	299		5.4	369	
X II	25.4	17.8	725	318		5.3	10	90	328		5.5	408	
X III	26.4	18.8	690	344		5.3	8	98	352		5.4	442	
X IV	27.3	20.0		368		5.3	8	106	376		5.4	474	
X V	28.2	21.0		389		5.2	7	113	396		5.3	502	
X VI	28.9	21.8		408		5.1	6	119	414		5.2	527	
X VII	29.6	22.6		425		5.0	5	124	430		5.1	549	
X VIII	30.2	23.6		439		4.9	4	128	443		4.9	567	
X IX	30.6	23.8		451		4.7	3	131	454		4.8	582	
X X	31.0	24.3		462		4.6	2	133	464		4.6	595	
X X I	31.4	24.8		471		4.5	1	134	472		4.5	605	
X X II	31.6	25.3		478		4.3		134	478		4.3	612	
X X III	31.8	25.8		483		4.2		134	483		4.2	617	
X X IV	32.0	26.0		488		4.1		134	488		4.1	622	
X X V	32.0	26.0		490		3.9		134	490		3.9	624	
X X VI	32.0	26.0		492		3.8		134	492		3.8	626	
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

(注) 二重線以降の齢級については、収獲予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 011

樹 種：ヒノキ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、千曲川上流、伊那谷

齢 級	主 林 木					副 林 木			主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m ³	連 年 成長量 m ³	平 均 成長量 m ³	幹材積 m ³	幹材積 累 計 m ³	幹材積 m ³	連 年 成長量 m ³	平 均 成長量 m ³	総収獲量 m ³	成長率 %
I					4.0					4.4			14.4
II													
III	6.2	4.8	3,071	23	5.0	1.5	1	1	24	5.8	1.6	24	10.9
IV	8.3	6.7	2,598	43		2.2	2	3	45		2.3	46	
V	10.3	8.3	2,200	68	5.8	2.7	4	7	72	7.2	2.9	75	8.9
VI	12.2	9.7	1,877	97		3.2	7	14	104		3.5	111	
VII	14.1	11.0	1,618	128	6.2	3.7	9	23	137	8.0	3.9	151	7.1
VIII	15.9	12.1	1,411	160		4.0	11	34	171		4.3	194	
IX	17.6	13.2	1,244	191	6.2	4.2	13	47	204	8.8	4.5	238	5.0
X	19.3	14.1	1,100	219		4.4	14	61	233		4.7	280	
X I	20.9	14.9	1,000	244	5.0	4.4	14	75	258	7.8	4.7	319	3.3
X II	22.4	15.7	910	266		4.4	15	90	281		4.7	356	
X III	23.9	16.4	835	283	3.4	4.4	14	104	297	6.2	4.6	387	2.2
X IV	25.3	17.0	772	298		4.3	14	118	312		4.5	416	
X V	26.7	17.6	720	310	2.4	4.1	13	131	323	5.0	4.3	441	1.6
X VI	27.7	18.2		320		4.0	11	142	331		4.1	462	
X VII	28.6	18.6		328	1.6	3.9	9	151	337	3.4	4.0	479	1.0
X VIII	29.5	19.0		334		3.7	7	158	341		3.8	492	
X IX	30.1	19.3		339	1.0	3.6	5	163	344	2.0	3.6	502	0.6
X X	30.7	19.6		343		3.4	2	165	345		3.5	508	
X X I	31.2	19.9		346	0.8	3.3	1	166	347	1.2	3.3	512	0.4
X X II	31.6	20.2		348		3.2		166	348		3.2	514	
X X III	32.0	20.4		349	0.4	3.0		166	349	0.8	3.0	515	0.2
X X IV	32.2	20.6		351		2.9		166	351		2.9	517	
X X V	32.4	20.8		353	0.4	2.8		166	353	0.4	2.8	519	0.1
X X VI													
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

(注) 二重線以降の齢級については、収獲予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 022

樹 種：カラマツ

施業群：（長伐期、人複）以外 適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳（奈川、奈良井、贄川を除く）、千曲川上流

齢 級	主 林 木					副 林 木			主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m³	連 年 成長量 m³	平 均 成長量 m³	幹材積 m³	幹材積 累 計 m³	幹材積 m³	連 年 成長量 m³	平 均 成長量 m³	総収穫量 m³	成長率 %
I					6.8 4.8 4.2 4.2 4.0 3.2 3.2 3.0 3.2 2.4 2.0 2.0 1.6 1.0 1.0 0.8 1.0 0.6					8.6 6.8 6.6 6.6 6.4 5.4 5.0 4.6 4.4 3.4 2.8 2.6 2.0 1.4 1.4 1.0 1.2 0.6			16.3 8.0 6.1 5.1 4.3 3.2 2.7 2.3 2.1 1.5 1.2 1.0 0.8 0.5 0.5 0.4 0.4 0.2
II	5.6	5.2	1,800	13		1.3							
III	8.9	7.9	1,471	38		2.5	4	4	42		2.8	42	
IV	12.4	10.2	1,161	72		3.6	9	13	81		4.1	85	
V	14.7	12.0	936	96		3.8	10	23	106		4.2	119	
VI	17.0	13.6	762	117		3.9	12	35	129		4.3	152	
VII	19.1	14.9	646	138		3.9	12	47	150		4.3	185	
VIII	20.9	16.0	561	158		4.0	12	59	170		4.3	217	
IX	22.7	17.1	501	174		3.9	11	70	185		4.1	244	
X	24.1	17.9	462	190		3.8	9	79	199		4.0	269	
X I	25.4	18.8	434	205		3.7	8	87	213		3.9	292	
X II	26.6	19.4	415	221		3.7	6	93	227		3.8	314	
X III	28.0	20.0		233		3.6	5	98	238		3.7	331	
X IV	29.0	20.0		243		3.5	4	102	247		3.5	345	
X V	30.0	21.0		253		3.4	3	105	256		3.4	358	
X VI	31.0	21.0		261		3.3	2	107	263		3.3	368	
X VII	31.0	22.0		266		3.1	2	109	268		3.2	375	
X VIII	32.0	22.0		271		3.0	2	111	273		3.0	382	
X IX	33.0	22.0		275		2.9	1	112	276		2.9	387	
X X	33.0	22.0		280		2.8	1	113	281		2.8	393	
X X I	34.0	23.0		283		2.7		113	283		2.7	396	
X X II													
X X III													
X X IV													
X X V													
X X VI													
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

（注） 二重線以降の齢級については、収穫予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 024

樹 種：カラマツ

施業群：長伐期、人複

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齢 級	主 林 木						副 林 木		主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹材積	連 年 成長量	平 均 成長量	幹材積	幹材積 累 計	幹材積	連 年 成長量	平 均 成長量	総収穫量	成長率
	c m	m	本	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	%
I					8.4					11.2			12.6
II	7.0	5.5	1,750	23			3	3					
III	11.4	8.7	1,375	69		4.6	9	12	78		5.2	81	
IV	14.3	11.5	1,110	111		5.6	14	26	125		6.3	137	
V	16.9	13.9	920	151		6.0	17	43	168		6.7	194	
VI	19.2	16.0	770	184		6.1	20	63	204		6.8	247	
VII	21.4	17.8	645	211		6.0	24	87	235		6.7	298	
VIII	23.4	19.3	550	235		5.9	23	110	258		6.5	345	
IX	25.4	20.5	485	253		5.6	22	132	275		6.1	385	
X	27.1	21.7	434	271		5.4	20	152	291		5.8	423	
X I	28.8	22.6	397	290		5.3	17	169	307		5.6	459	
X II	30.4	23.4	365	306		5.1	17	186	323		5.4	492	
X III	31.9	24.1	339	321		4.9	16	202	337		5.2	523	
X IV	33.4	24.7	317	336		4.8	15	217	351		5.0	553	
X V	34.8	25.2	297	348		4.6	15	232	363		4.8	580	
X VI	36.1	25.7	280	359		4.5	14	246	373		4.7	605	
X VII	37.4	26.0	266	370		4.4	12	258	382		4.5	628	
X VIII	38.6	26.3	258	380		4.2	10	268	390		4.3	648	
X IX	39.8	26.6	254	390		4.1	5	273	395		4.2	663	
X X	40.9	26.8	254	399		4.0	4	277	403		4.0	676	
X X I	41.6	27.0		407	1.2	3.9	3	280	410	1.8	3.9	687	0.4
X X II	42.4	27.1		414		3.8	2	282	416		3.8	696	
X X III	43.3	27.2		420		3.7	1	283	421		3.7	703	
X X IV	43.7	27.2		426		3.6		283	426		3.6	709	
X X V	44.2	27.2		432		3.5		283	432		3.5	715	
X X VI	44.6	27.2		438		3.4		283	438		3.4	721	
X X VII	44.9	27.2		442		3.3		283	442		3.3	725	
X X VIII	45.1	27.2		446		3.2		283	446		3.2	729	
X X IX	45.2	27.2		450		3.1		283	450		3.1	733	
X X X	45.2	27.2		455		3.0		283	455		3.0	738	

(注) 二重線以降の齢級については、収穫予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 021

樹 種：アカマツ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曾谷

齢 級	主 林 木						副 林 木		主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径	樹 高	本 数	幹材積	連 年 成長量	平 均 成長量	幹材積	幹材積 累 計	幹材積	連 年 成長量	平 均 成長量	総収穫量	成長率
	c m	m	本	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	%
I					3.2					3.6			10.4
II	2.4	2.8	3,170	14		1.9							
III	5.0	4.8	2,680	28		2.2			28		1.9	28	
IV	7.9	6.7	2,130	44		2.4	2	2	46		2.3	46	
V	10.9	8.5	1,565	60		2.5	9	11	69		2.8	71	
VI	13.6	10.0	1,100	76		2.6	15	26	91		3.0	102	
VII	16.2	11.4	815	91		2.7	15	41	106		3.0	132	
VIII	18.8	12.7	640	106		2.7	14	55	120		3.0	161	
IX	21.0	13.8	545	121		2.7	11	66	132		2.9	187	
X	22.9	14.7	478	134		2.7	11	77	145		2.9	211	
X I	24.8	15.6	421	147		2.7	10	87	157		2.9	234	
X II	26.6	16.4	374	159		2.7	10	97	169		2.8	256	
X III	27.9	17.0	350	170		2.6	7	104	177		2.7	274	
X IV	29.2	17.6	330	181		2.6	6	110	187		2.7	291	
X V	30.0	18.0		191		2.5	5	115	196		2.6	306	
X VI	31.0	19.0		201		2.5	4	119	205		2.6	320	
X VII	32.0	19.0		210		2.5	3	122	213		2.5	332	
X VIII	33.0	20.0		217		2.4	2	124	219		2.4	341	
X IX	34.0	20.0		222		2.3	1	125	223		2.3	347	
X X	34.0	20.0		226		2.3		125	226		2.3	351	
X X I	35.0	21.0		228		2.2		125	228		2.2	353	
X X II													
X X III													
X X IV													
X X V													
X X VI													
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

(注) 二重線以降の齢級については、収穫予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 032

樹 種：その他針葉樹

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齡 級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計						
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m³	連 年 成長量 m³	平 均 成長量 m³	幹材積 m³	幹材積 累 計 m³	幹材積 m³	連 年 成長量 m³	平 均 成長量 m³	総收穫量 m³	成長率 %	
I					3.0					3.4			10.3	
II														
III														
IV	5.3	3.6	2,760	27		1.4			27		1.4	27		
V	7.8	4.4	2,400	42		1.7	2	2	44		1.8	44		
VI	9.4	5.5	2,100	59		2.0	4	6	63		2.1	65		
VII	11.0	6.7	1,840	79		2.3	6	12	85		2.4	91		
VIII	12.5	8.0	1,630	101		2.5	7	19	108		2.7	120		
IX	14.3	9.1	1,430	125		2.8	7	26	132		2.9	151		
X	16.1	10.2	1,270	148		3.0	9	35	157		3.1	183		
X I	17.7	11.1	1,130	170		3.1	10	45	180		3.3	215		
X II	19.2	12.0	1,020	191		3.2	11	56	202		3.4	247		
X III	20.7	12.7	910	212		3.3	11	67	223		3.4	279		
X IV	22.3	13.3	820	232		3.3	12	79	244		3.5	311		
X V	23.7	13.9	740	250		3.3	13	92	263		3.5	342		
X VI	25.0	14.5	660	266		3.3	13	105	279		3.5	371		
X VII	26.0	15.0		280		3.3	12	117	292		3.4	397		
X VIII	27.0	16.0		292		3.2	11	128	303		3.4	420		
X IX	28.0	16.0		303		3.2	10	138	313		3.3	441		
X X	29.0	16.0		312		3.1	9	147	321		3.2	459		
X X I	30.0	17.0		320		3.0	8	155	328		3.1	475		
X X II	31.0	17.0		327		3.0	7	162	334		3.0	489		
X X III	31.0	17.0		332		2.9	6	168	338		2.9	500		
X X IV	32.0	18.0		337		2.8	5	173	342		2.9	510		
X X V	32.0	18.0		341		2.7	4	177	345		2.8	518		
X X VI	33.0	18.0		344		2.6	3	180	347		2.7	524		
X X VII	34.0	18.0		347		2.6	3	183	350		2.6	530		
X X VIII	34.0	18.0		349		2.5	2	185	351		2.5	534		
X X IX	34.0	18.0		352		2.4	1	186	353		2.4	538		
X X X	34.0	18.0		354		2.4	1	187	355		2.4	541		

(注) 二重線以降の齢級については、収穫予想表から推定した数値である。

収 穫 予 想 表

適用コード： 041

樹 種：広葉樹

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流

齢 級	主 林 木				副 林 木				主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m³	連 年 成長量 m³	平 均 成長量 m³	幹材積 m³	幹材積 累 計 m³	幹材積 m³	連 年 成長量 m³	平 均 成長量 m³	総収穫量 m³	成長率 %
I													
II													
III													
IV													
V				29		1.2			29		1.2	29	6.6
VI	4.9	5.8	6,650	40	2.2	1.3			40	2.2	1.3	40	5.8
VII	6.6	7.1	4,093	53	2.6	1.5			53	2.6	1.5	53	4.2
VIII	8.3	8.2	2,855	65	2.4	1.6			65	2.4	1.6	65	3.2
IX	10.0	9.3	2,100	76	2.2	1.7			76	2.2	1.7	76	3.0
X	11.8	10.4	1,585	88	2.4	1.8			88	2.4	1.8	88	2.4
X I	13.5	11.4	1,267	99	2.2	1.8			99	2.2	1.8	99	1.9
X II	15.2	12.2	1,052	109	2.0	1.8			109	2.0	1.8	109	1.8
X III	16.9	13.1	882	119	2.0	1.8			119	2.0	1.8	119	1.8
X IV	18.6	14.0	750	130	2.2	1.9			130	2.2	1.9	130	1.5
X V	20.3	14.8	650	140	2.0	1.9			140	2.0	1.9	140	1.4
X VI	22.0	15.6	570	150	2.0	1.9			150	2.0	1.9	150	1.2
X VII	23.7	16.4	499	159	1.8	1.9			159	1.8	1.9	159	1.1
X VIII	25.4	17.2	448	168	1.8	1.9			168	1.8	1.9	168	1.0
X IX	27.1	17.8	403	177	1.8	1.9			177	1.8	1.9	177	0.9
X X	28.8	18.2	364	185	1.6	1.9			185	1.6	1.9	185	0.6
X X I	30.5	18.4	331	191	1.2	1.8			191	1.2	1.8	191	0.4
X X II	32.2	18.4	303	195	0.8	1.8			195	0.8	1.8	195	0.4
X X III	34.0	19.0		199	0.8	1.7			199	0.8	1.7	199	0.3
X X IV	35.0	19.0		202	0.6	1.7			202	0.6	1.7	202	0.3
X X V	36.0	19.0		205	0.6	1.6			205	0.6	1.6	205	0.2
X X VI	38.0	20.0		207	0.4	1.6			207	0.4	1.6	207	0.1
X X VII	39.0	20.0		208	0.2	1.5			208	0.2	1.5	208	0.1
X X VIII	40.0	20.0		209	0.2	1.5			209	0.2	1.5	209	0.0
X X IX	41.0	20.0		209	0.1	1.4			209	0.1	1.4	209	0.1
X X X	41.0	21.0		210	0.1	1.4			210	0.1	1.4	210	0.0
X X X I	42.0	21.0		210	0.1	1.4			210	0.1	1.4	210	0.1
X X X II	42.0	21.0		211	0.1	1.4			211	0.1	1.4	211	0.0
X X X III	43.0	21.0		211	0.1	1.3			211	0.1	1.3	211	0.1
X X X IV	43.0	21.0		212	0.1	1.2			212	0.1	1.2	212	0.0
X X X V	44.0	22.0		212	0.1	1.2			212	0.1	1.2	212	0.1
X X X VI	44.0	22.0		213	0.1	1.2			213	0.1	1.2	213	

(注) 二重線以降の年齢については、収獲予想表から推定した数値である。